山梨県のカワウ対策

芦澤晃彦(山梨県水産技術センター)

|はじめに カワウ対策は被害発生場所と被害対象(魚類捕食による水産被害なのか、排泄物による生息場所の樹木枯死などの森林被害なのか)を明確にすることが重要である。そして、被害発生場所の管理者、被害者など様々な関係者と話し合い、被害軽減のための対策を検討し、協力して作業を進めていくことが大切である。本発表では、山梨県カワウ保護管理指針に基づいて行われている様々な対策を紹介する。

カワウはアユが好きなのか 山梨県唯一のコロニー(甲府市下曽根町)におけるカワウの吐き戻しと河川での魚類相を比較し、餌魚種選好性について調査を行った。カワウの IRI(餌重要度指数)はオイカワ、アユ、ウグイの順に高かった。一方、餌選択性指数はウグイ、カマツカ、オイカワの順に高く、アユは6番目であった。そのため、アユはカワウにとって重要な餌ではあるが、利用しやすい餌ではないことがわかった。このことから、ウグイやオイカワを増やすことで、アユの被害を軽減できることが示唆された。

モニタリング調査 山梨県では平成14年度から毎月1回10定点で飛来数調査を行っている。漁協組合員自らが調査することにより、「カワウを見る目」が養われている。 飛来数や飛来する方向など、カワウの動向を常に把握し、その情報を共有することで、 新規コロニーの早期発見に役立っている。新規コロニーが発見された際には、速やか に除去を行っている。

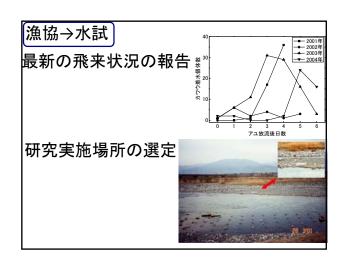
放流場所での追い払い 放流場所では漁協が主体となって、追い払い対策が行われている。カワウは同じ対策ばかり行っていると慣れてしまい、追い払い効果がなくなってしまうため、各漁協では工夫をこらしながら複数の対策を組み合わせている。また、県境では銃器による駆除が行われており、県外からの飛来を抑えている。捕獲されたカワウは解剖し、胃内容物重量組成を明らかにしている。その数値に基づき山梨県でのカワウによるアユの食害額を算出している。

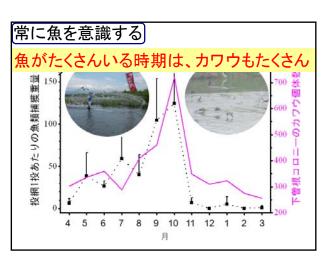


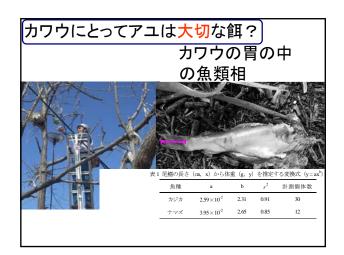


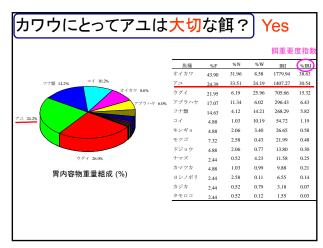




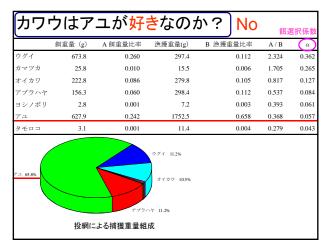


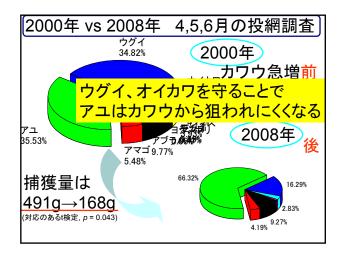








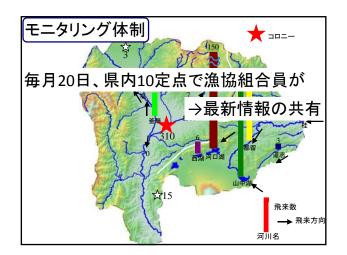






対策は計画的に」<mark>ウェブで閲覧可能</mark> 関東カワウ広域協議会山梨県協議会 山梨県カワウ保護管理指針(H24-28)

- ・モニタリング調査をしっかりしましょう
- 被害は放流から解禁までのアユのみ
- •春だけ、全力で頑張る
- ・放流場所では追い払い、捕獲
- ・コロニーでは繁殖抑制、 新規コロニーの早期発見、除去



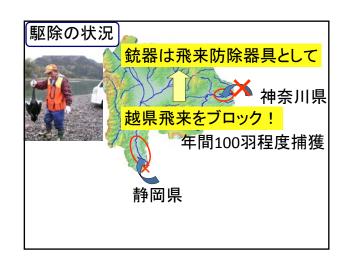
対策は計画的に)<mark>ウェブで閲覧可能</mark> 関東カワウ広域協議会山梨県協議会 山梨県カワウ<mark>保護管理指針</mark>(H24-28)

- ・モニタリング調査をしっかりしましょう
- 被害は放流から解禁までのアユのみ
- ・春だけ、全力で頑張る
- ・放流場所では追い払い、捕獲
- ・コロニーでは繁殖抑制、 新規コロニーの早期発見、除去

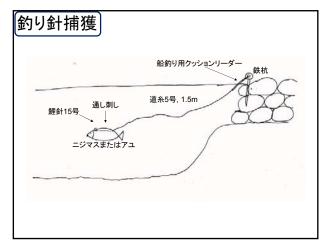


対策は計画的に)<mark>ウェブで閲覧可能</mark> 関東カワウ広域協議会山梨県協議会 山梨県カワウ<mark>保護管理指針</mark>(H24-28)

- ・モニタリング調査をしっかりしましょう
- 被害は放流から解禁までのアユのみ
- ・春だけ、全力で頑張る
- ・放流場所では追い払い、捕獲
- ・コロニーでは繁殖抑制、 新規コロニーの早期発見、除去



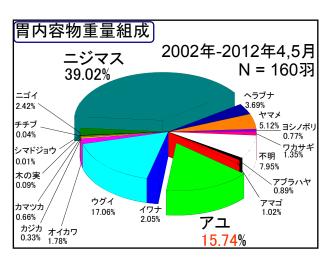












2012年 山梨県での食害額

461羽×500g×15.74%×1.5ヶ月 = 1.63t (4.51の山梨県のカワウ (放流~解禁) の胃のアユ合有率)

繁殖抑制

飛来防除

放流アユ単価 3083円 / kg ラ 503万円



アユ放流量25.0tの6.5%

対策は計画的に)<mark>ウェブで閲覧可能</mark> 関東カワウ広域協議会山梨県協議会 山梨県カワウ保護管理指針(H24-28)

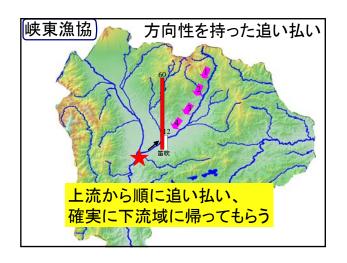
- ・モニタリング調査をしっかりしましょう
- ・被害は放流から解禁までのアユのみ
- ・春だけ、全力で頑張る
- ・放流場所では追い払い、捕獲
- ・コロニーでは繁殖抑制、 新規コロニーの早期発見、除去





















飛来防止対策は手を変え品を変え|

- 竹を川岸に浮かべてアユの隠れ場づくり
- ・ロケット花火の自動発射装置
- •飛来防<u>止ガップ(タカ尹2早)</u>
 - どれも10日くらいは効果が持続
- ・キラキラベットホトル
- ・テグス張り(網日状に張る)
- ・防鳥テープ張り
- 手作りカカシ(たまに着せ替え)

|だんだん刺激を強くする|

ロケット花火:至近距離で発射 テグス張り :本数を増やす

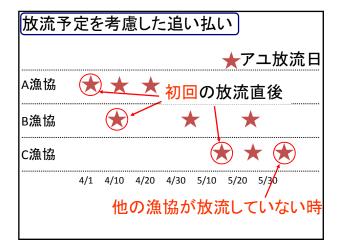
逆転の発想で、カワウに自分を覚えさせる 追い払う人(の服装)、使用する車やボート 案山子の服装は、

ハンターのようなオレンジ色が一番!









対策は計画的に ウェブで閲覧可能 関東カワウ広域協議会山梨県協議会 山梨県カワウ保護管理指針(H24-28)

- ・モニタリング調査をしっかりしましょう
- ・被害は放流から解禁までのアユのみ
- 春だけ、全力で頑張る
- ・放流場所では追い払い、捕獲
- ・コロニーでは繁殖抑制、 新規コロニーの早期発見、除去

繁殖抑制



2012年繁殖抑制による被害抑制額

通常 1.87羽 / 巣 の雛が巣立つ

251列 × 327g × 16.79% × 1.5ヶ月 = 732kg $\frac{(4-610)}{(500)}$ だった雛数) $\frac{(4-610)}{(400)}$ アコ含有率) (孵化〜巣立ち)

放流アユ単価 3,083円/kg 📥 226万円

ドライアイス、擬卵原料の購入 作業補助員の人件費



30万円

繁殖抑制の注意点と考え方

拡散が怖い

散った先で増える

本丸の繁殖地ではかく乱を最小に

孵化しない卵をずっと抱卵させる

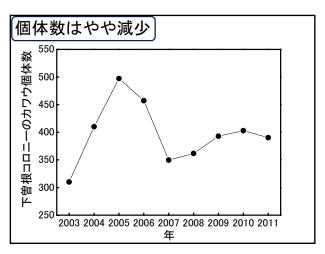
刺激しないように、繁殖を抑える

対策は計画的に)<mark>ウェブで閲覧可能</mark> 関東カワウ広域協議会山梨県協議会 山梨県カワウ保護管理指針(H24-28)

- ・モニタリング調査をしっかりしましょう
- 被害は放流から解禁までのアユのみ
- ・春だけ、全力で頑張る
- ・放流場所では追い払い、捕獲
- ・コロニーでは繁殖抑制、

新規コロニーの早期発見、除去





まとめ 持続可能な体制と対策を!!

モニタリング調査:広域的、定期的、画一的

<u>捕獲 :ルール厳守で計画的</u>に

飛来防止対策 :場所と時期を限定、

手を替え品を替え

ロロニー管理 : 早期発見、早期除去

既存コロニーで繁殖抑制

釣り竿を使ったひも張り方法

坪井潤一(山梨県水産技術センター)

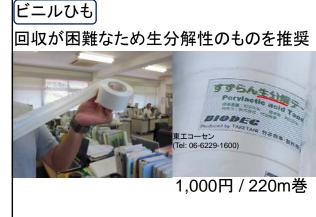
はじめに カワウの群れや生息場所(夜を過ごすねぐら、繁殖をするコロニー)の位置と箇所数を管理する対策、ビニルひも張りの方法を紹介したい。言い換えれば、人にとって不都合な場所に棲むようになったカワウに、その場から撤退してもらう手法である。

対策に必要なもの 投げ釣りというジャンルの釣り道具一式(竿: 4.2m おもり負荷 20 号以上, リール: ナイロン糸 5 号 200m 巻き, おもり 20 号) と生分解性のビニルひもが必要である。前者は釣具店にて 1 万円以内で購入できる。後者については 220m 巻きが 1000 円前後 (購入数量による) で商社等から購入できる。

ビニルひも張りがなぜ効果的か 視覚(長いひもが、とまり木を巻いている)、聴覚(微風でもビニルひもから大きな音がでる)、物理的障害(飛び立つ際に邪魔)により、カワウが非常に嫌がる対策であると考えられる。また、ダム湖畔など歩いては行けない場所であっても、ボートから作業を行うことができる安全な対策である。また、同所的に繁殖するアオサギについては、対策の効果(繁殖阻害等の悪影響)がみられず、カワウにのみ効果的な対策である。また、生分解性のビニルひもを使用するため、とまり木の伐採などと比較すれば、環境負荷が比較的小さな対策であるといえる。

ビニルひも張り後の事後調査 作業直後は追いやられたカワウが、どの方角に飛び去ったか観察しておく。対策のおよそ 1 週間後に、除去に成功したかどうかの確認を行うとともに、対策を行った場所周辺を中心に新たな場所へ分散が見られないか、事後の追跡調査を行う必要がある。対策の効果検証を行う上で個体数モニタリング調査とその体制作りが大切である。





ビニルひも張りの道具

釣り竿 できれば遠投できる投げ釣り用

開けた場所では4.5m 密林地帯であれば3m程度

リール スプールの口径が大きいもの 釣り糸は5号程度

釣り道具の購入に必要な予算

竿(4.2m, おもり負荷20号) 5,880円 リール(ナイロン糸5号200m巻) 1,980円

おもり(20号,6個入り) 615円

計 8,475円

2011年11月 大手釣り具屋での通常価格

